

丹波縄文の森塾 活動報告



令和6年11月23日（土） 曇／小雨

縄文土器 野焼



朝は晴れ間も見えていましたが、時折小雨の混じる不安定な天気の日でした。きょうの体験のメインは縄文土器の野焼きと秋の里山散策。7月に粘土で作った乾燥させておいた土器を倉庫から取り出し、野焼する広場まで移動。マッチで火をつけて野焼きがはじまりました。マッチを使うが初めての人が多く、マッチを擦るのもいい体験になりました。いこした炭の周りに土器を並べ、時間をおいて回しながら全体を徐々に温めます。

唐箕（とうみ）体験



その間に唐箕（とうみ）の体験と焼き芋づくり。前回、脱穀した粳（もみ）に混ざっている藁（わら）やゴミを吹き飛ばす道具が唐箕です。手でハンドルを回すと装置内の羽が回転し、扇風機のように風を起こし、その風で藁を吹き飛ばしました。

焼き芋は、サポーターから分けていただいたサツマイモを濡れた新聞紙で包み、アルミホイルを巻いて焼きました。



秋の里山散策



きょうの昼食は牛丼とみそ汁。それにデザートとして大学芋もサポーターさんに作ってもらいました。大学芋に使った芋は、みんなが植えた畑でとれたサツマイモでした。

午後は秋の里山散策。色づいた木々の中を気持ちよく歩きました。兵庫県の県花ノジギクを始めとして、イチョウ、チカラシバ、オナモミ、ススキ、アラカシ、サザンカ、サネカズラ、サルトリイバラ、ノブドウなどを探しました。

薪入れ



毒キノコのカラカサタケや強力なひつつき虫オナモミも見ることができました。



散策のあと、再び土器の野焼きの薪入れをしました。

みんなで一斉に枯草をのせると大きな炎となって燃え上がりました。あとはじっくり焼きあがるのを待つだけ。あすの土器あげが楽しみです。